



**山梨県**

精神保健福祉センター

平成23年度

# 精神保健福祉センター一報

---

山梨県立精神保健福祉センター

# 目 次

目 次	- 1 -
精神保健福祉センターの概要	- 1 -
1 沿革	- 1 -
2 施設	- 1 -
3 職員構成	- 2 -
4 精神保健福祉センター事業	- 3 -
平成 23 年度 事業実績	- 6 -
I 技術指導・技術援助	-6-
II 人材育成	-9-
1 精神保健福祉担当者研修会	- 9 -
2 地域精神医療研究会	- 9 -
3 精神保健福祉事例検討会	- 10 -
4 精神障害者地域移行促進強化事業	- 10 -
III 広報・普及	-11-
1 所報、パンフレット等印刷物の発行	- 11 -
2 広報視聴覚教材の提供・貸出（ビデオ・図書・パネル）	- 11 -
IV 調査研究	-11-
1 趣旨・内容	- 11 -
2 その他の研究内容－山梨県公衆衛生研究発表会で発表	- 11 -
V 精神保健福祉相談	-12-
1 精神保健福祉相談件数	- 12 -
2 新規所内相談の内訳	- 12 -
VI 組織の育成	-14-
1 山梨県精神保健協会	- 14 -
2 山梨県精神障害者家族会連合会（しゃくなげ会）	- 16 -
3 山梨県精神保健福祉協力事業所の会	- 16 -
4 山梨県精神障害者地域活動支援事業所連絡会	- 18 -
5 虹の会（当事者の会）	- 18 -
6 絆扉の会	- 19 -
7 ボランティア活動への支援	- 19 -
8 精神障害当事者等リーダー会議	- 19 -
VII 社会参加促進事業	-21-
第 16 回 心の健康を考えるつどい	- 21 -
VIII 特定相談指導事業	-22-
1 アルコール関連問題に関する相談指導等	- 22 -
2 思春期精神保健に関する相談指導等	- 22 -
3 薬物関連問題相談指導等	- 25 -
IX 心の健康づくり推進事業・自殺予防対策事業	-25-

1	自殺予防対策.....	- 26 -
2	「こころの電話相談室」ーストレスダイヤラー.....	- 28 -
<b>X</b>	<b>子どもの虐待予防対策事業.....</b>	<b>-3-</b>
1	親子のこころ相談室.....	- 30 -
<b>XI</b>	<b>精神科救急情報センター窓口運営事業.....</b>	<b>-3-</b>
1	概 要.....	- 30 -
2	精神科救急医療体制（精神科救急情報センター）.....	- 31 -
3	実施状況.....	- 31 -
<b>XII</b>	<b>精神医療審査会.....</b>	<b>-3-</b>
	精神医療審査会に関わる事務.....	- 34 -
<b>XIII</b>	<b>自立支援医療費（精神通院医療）・精神障害者保健福祉手帳の判定事務.....</b>	<b>-5-</b>

# 精神保健福祉センターの概要

## 1 沿革

昭和46年4月1日	山梨県立精神衛生センターの設置及び管理に関する条例の公布により、県庁構内西別館に設置される。
昭和46年12月1日	中央合同庁舎（甲府市中央一丁目）に移転
昭和59年12月6日	甲府保健所等合同庁舎（甲府市太田町）に移転
昭和63年3月28日	精神保健センターに改称
平成7年10月17日	精神保健福祉センターに改称
平成9年3月17日	現庁舎 山梨県福祉プラザ（甲府市北新一丁目）に移転

## 2 施設

### 1 場所

山梨県甲府市北新一丁目2-12（山梨県福祉プラザ内）

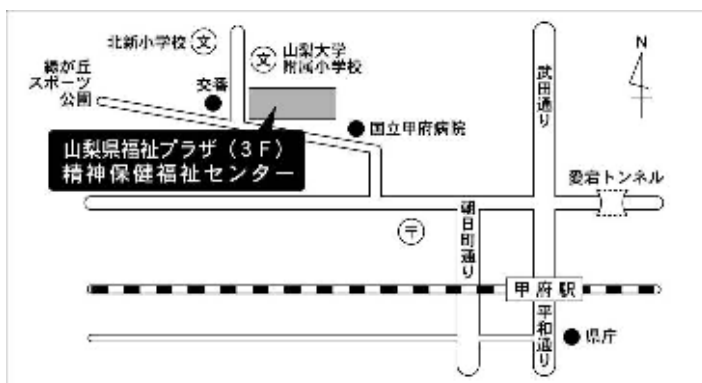
電話 055-254-8644～6

### 2 建物及び面積

鉄筋コンクリート造 4階建（山梨県福祉プラザ）の3階一部

面積 366.9㎡

### 3 センター案内図

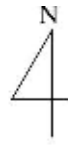


甲府駅北口から  
山梨交通バス約10分

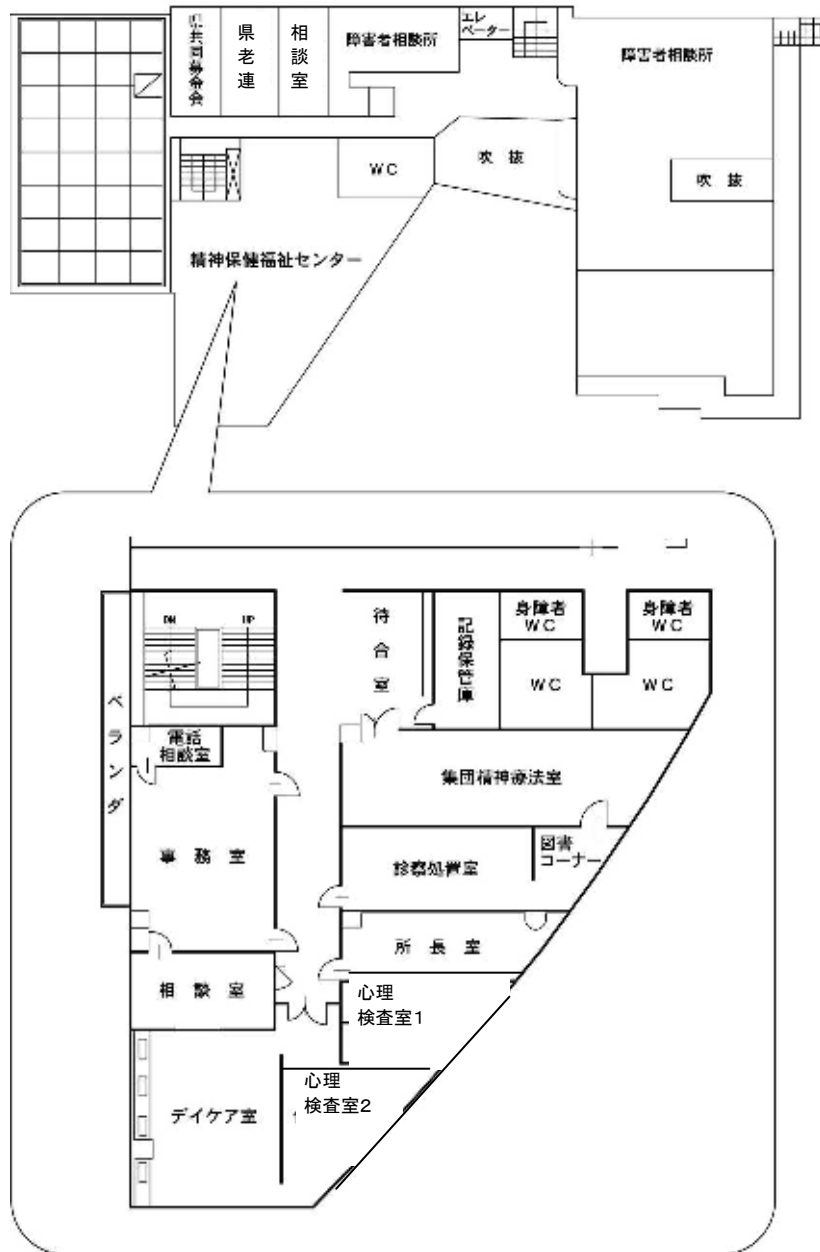
- 上帯那行き
- 花園病院行き
- 塚原行き

県福祉プラザ前下車

# 山梨県立精神保健福祉センター平面図



福祉プラザ3階平面図



## 3 職員構成

職種	医師	一般事務	心理職	ソーシャルワーカー	保健師	作業療法士	電話相談員	計
専任	1		3	2	2	1		9
非常勤嘱託		1					8	9
計	1	1	3	2	2	1	8	18

## 4 精神保健福祉センター事業

### 技術指導・技術援助

関係機関・組織・特定グループの行う事業及び関係者に対して専門的立場での技術指導・技術援助を行い、連携を図る。

### 人材育成

- 1 精神保健福祉関係職員研修会（精神保健福祉相談員・保健師・精神保健福祉担当者等）
- 2 地域精神医療研究会（県精神保健協会と共催）
- 3 精神保健福祉事例検討会の開催
- 4 退院促進支援に関する専門家の研修会（精神障害者地域移行促進強化事業）
- 5 （再掲）精神保健職親研修会
- 6 （再掲）特定相談指導事業に係る研修（アルコール、思春期に関する研究会等研修事業）
- 7 （再掲）心の健康づくり推進事業・自殺予防対策事業に係る研修
- 8 （再掲）精神科救急及びこころの電話相談に関する研修
- 9 （再掲）社会復帰施設等従事者研修会（精神障害者社会復帰施設、作業所等の職員）

### 広報・普及

- 1 所報、パンフレット等印刷物の発行
- 2 広報視聴覚教材の提供、貸出（ビデオ、図書、パネル）

### 調査研究

- 1 自殺再企図防止のための支援に関する研究

### 精神保健福祉相談

- 1 来所による相談（原則として予約制）、電話相談
- 2 （再掲）「こころの電話相談室」－
- 3 （再掲）薬物関連問題相談
- 4 （再掲）特定相談
  - ・アルコール関連問題
  - ・思春期相談
- 5 （再掲）自殺防止電話相談

## **組織の育成**

- 1 山梨県精神保健協会の育成・連携
- 2 精神障害者家族会の育成
- 3 山梨県精神保健福祉協力事業所の会（職親会）の育成・援助
- 4 山梨県精神障害者地域活動支援事業所連絡会の育成
- 5 虹の会（当事者の会）の育成
- 6 絆<sup>ほんび</sup>の会（家族会）の育成
- 7 ボランティア活動への支援
- 8 精神障害当事者等リーダー会議の育成・援助
- 9 （再掲）アルコール関係組織の育成・連携
- 10 （再掲）山梨県精神障害者社会復帰関係施設連合会の育成・連携

## **社会参加促進事業**

心の健康を考えるつどい

## **特定相談指導事業**

- 1 アルコール関連問題に関する相談指導
- 2 思春期精神保健福祉に関する相談指導
- 3 薬物関連問題相談指導

## **心の健康づくり推進事業・自殺予防対策事業**

- 1 自殺予防対策事業
- 2 「こころの電話相談室」ーストレスダイヤラーーの設置

## **子どもの虐待再発予防対策事業**

- 1 親子のこころ相談室
- 2 関係機関への技術支援及び関係者への研修

## **精神科救急情報センター窓口運営事業**

- 1 救急医療相談窓口
- 2 心の健康相談
- 3 精神科救急情報センター窓口担当職員の研修

## **精神医療審査会運営及び事務**

精神医療審査会運営及び事務

## **精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費判定**

精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療費（精神通院医療）の判定事務

## 特別事業（再掲）

### 特定相談指導事業

- 1 アルコール関連問題に関する相談指導
  - ・アルコール問題を考える集いの開催
  - ・アルコール関連問題に関する特別相談窓口
  - ・広報普及（講演会等）、技術指導、調査研究等
- 2 思春期精神保健福祉に関する相談指導
  - ・思春期コンサルタント事業
  - ・思春期問題ワークショップ
  - ・ひきこもり青年の家族教室・親の会
  - ・ひきこもり青年の集団援助活動（SST・アクティビティグループ）
  - ・思春期問題連絡会議
  - ・広報・普及（講演会等）、技術指導援助等
- 3 薬物関連問題相談事業
  - ・精神科医師による相談（予約制）
  - ・知識の普及啓発（講演会等）
  - ・薬物関連問題相談専門研修会

### 心の健康づくり事業・自殺予防対策事業

- 1 自殺予防対策事業
- 2 「こころの電話相談室」ーストレスダイヤラーの設置

### 精神科救急情報センター窓口運営事業

- 1 救急医療相談窓口
  - 相談職員：精神保健福祉センター職員、非常勤職員 3 人
  - 開設時間：平日夜間 午後 5 時15分～ 9 時15分  
土日祝祭日 午前11時～午後 7 時30分
  - 電話番号：055-254-3119
- 2 心の健康相談
  - 相談職員：非常勤職員 3 人
  - 相談時間：平日夜間 午後 4 時30分～ 9 時15分  
土日祝祭日 午前11時～午後 7 時30分  
(正午～午後 1 時、午後 4 時～ 4 時30分は休憩時間)
  - 電話番号：055-254-8700
- 3 精神科救急情報センター窓口担当職員の研修



# 平成23年度 事業実績

## I 技術指導・技術援助

### 1 年間実績

技術指導・技術援助は、その対象とする関係機関、組織・特定グループの行う事業（企画・運営・実施等を含む）および関係者に対して、専門的立場から参加し指導及び援助（特に区別しない）を行うことであり、全国精神保健福祉センター所長会が定義づけている。

（平成23年度）

	技術指導・援助（延件数）										
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	その他	計
保健所					6	2		28			36
市町村					1	4		15			20
福祉事務所											0
医療施設		6			57						63
介護老人保健施設	1										1
社会復帰施設		7		1							8
社会福祉施設		1									1
その他(含む学校)		15			28	13		20		7	83
実施件数	1	29	0	1	92	19	0	63		7	212

### 2 関係機関に出向いて実施した内容

県下の関係機関からの要請に応じて、実施した内容は、次の通りである。

#### 1) 保健所

事業名	対象者	従事者	内容	参加者数
管内保健師定例会	峡南保健所管内保健師	保健師	事例検討スーパーバイズ	22人
各保健所地域セーフティネット連絡会議（自殺予防対策事業）（計8回）	各関係者	医師・保健師	参画・助言等	延べ162人
いのちをつなぐ青木ヶ原ネットワーク会議（自殺予防対策事業）（会議・2回）	委員（各関係者）	医師・保健師	参画・助言等	延べ50人

事業名	対象者	従事者	内容	参加者数
いのちをつなぐボランティア養成講座 2回 (自殺予防対策事業)	一般住民	保健師	参画・助言等	76人

## 2) 医療施設等

事業名	対象者	従事者	内容	参加者数
北病院思春期症例カンファレンス (計6回)	北病院思春期病棟に係る職員	医師	事例検討会指導助言	60人
こころの発達総合支援センター症例検討会 (計36回)	センター職員	医師	事例検討会指導助言	180人

## 3) その他

事業名	対象者	従事者	内容	参加者数
民生児童委員研修会	民生児童委員	保健師	講義	70人
介護支援専門員研修会	介護支援員	保健師	講義	20人
山梨大学講義	大学教員	保健師	講義	25人
学校保健委員会	保護者等	保健師	講義	20人
保育所等研修会	保育士等	保健師	講義	120人
福祉のしごと就職講座	介護福祉士等	保健師	講義	40人
障害者職業生活相談員資格認定講習会	障害者職業生活相談員	精神保健福祉士	障害者の雇用管理等について (精神障害者)	40人
山教祖北都留支部夏季学習会	組合員	医師	講義	50人
山梨県精神家族会連合講演会	当事者、家族、精神福祉関係者	医師	講義	100人
障害者パソコンボランティア養成講習会 (2回)	受講生	精神保健福祉士	講義 「精神障害者の理解とその対応」	20人

## 3 協議会等委員

協議会名	参加者	回数
山梨県精神保健福祉審議会	医師	1
いのちのセーフティネットワーク連絡協議会	医師・保健師	1
スクールソーシャルワーカー活用事業運営協議会	医師	1
子どもと親と教師のための教育相談事業連絡協議会	医師	2
山梨県若者自立支援ネットワーク会議	医師	1
メディカルコントロール協議会精神部会	医師	1
子どもの心の問題に対する支援・医療等に係わる検討会	医師	1

発達障害者支援体制整備検討委員会	医師	2
精神病院実地指導	医師	6
山梨県医療観察制度連絡協議会	医師	1
精神障害者主張大会実行委員会	作業療法士	4
精神障害者スポーツ大会実行委員会	作業療法士	3
精神障害者スポーツレクリエーション大会実行委員会	作業療法士	中止
精神障害者雇用支援連絡協議会	精神保健福祉士	2
甲府圏域精神障害者自立促進支援協議会	精神保健福祉士	2
峡西・峡北圏域精神障害者自立促進支援協議会	精神保健福祉士	3
峡東圏域精神障害者自立促進支援協議会	精神保健福祉士	6
富士・東部圏域精神障害者自立促進支援協議会	精神保健福祉士	3

## Ⅱ 人材育成

### 1 精神保健福祉担当者研修会

県における精神保健福祉担当者、従事者が地域精神保健福祉業務・事業を行う上で必要な情報共有や技能習得、職員の資質の向上を目指すことを目的に開催した。平成23年度開催状況は次のとおりである。

日 時	内 容	参加者数
平成23年4月19日	・被災地派遣報告 ・役割分担	17人
平成23年6月7日	・平成22年度通報・受診援助実績について ・社会適応訓練事業について ・人口動態統計死亡小票の調査について	12人
平成23年7月25日	・地域移行における取り組みについて ・社会適応訓練事業について	8人
平成23年12月27日	・ライフコーディネーター事業について ・ケアマネジメントについて ・心神喪失者等医療観察法に基づく処遇実施における連携について ・公衆衛生研究発表会について	16人
平成24年2月16日	・アウトリーチ推進事業について	13人
平成24年2月16日	・各研修・会議等報告 ・全国精神保健福祉業務研修会 ・山梨県メディカルコントロール協議会精神部会 ・山梨県自立支援協議会	9人

### 2 地域精神医療研究会

精神保健福祉に関わる関係者が、講演会、事例検討会、話題提供等をとおして情報交換し、知識の習得や研鑽を図ることを目的に精神保健協会との共催で、第2又は第4木曜日（原則）の午後3時～5時に開催した。平成23年度開催状況は次のとおりである。

日 時	内 容	話題提供者・講演者	参加者数
平成23年 5月12日	平成23年度山梨県精神保健福祉事業と精神保健福祉センターの事業について	障害福祉課 心の健康担当 リーダー 矢崎 真吾 精神保健福祉センター リーダー 守屋 法子	18人
6月9日	こころの発達総合支援センターの紹介	こころの発達総合支援センター 次長 秋山 恵利子	44人
7月28日	医療観察法関連	山梨県立北病院 医長 三澤 史斉 主任看護師 内田 勇 作業療法士長 辻 貴司	26人
9月22日	東日本大震災 被災地ケア報告	日下部記念病院 院長 久保田 正春 精神保健福祉士 精進 直幸 臨床心理士 清水 善弘 看護師 佐藤 富明	21人
10月13日	自殺の調査研究報告	精神保健福祉センター リーダー 守屋 法子	9人
平成24年 1月13日	認知症の最新治療薬と認知症の予防について	功刀クリニック 院長 功刀 弘	20人

### 3 精神保健福祉事例検討会

当研修会は、地域精神保健福祉活動のさらなる推進及び充実のために、事例検討を通して関係職員の資質向上、関係機関の連携及び協力を図ることを目的に開催した。その内容、開催状況は次のとおりである。

#### 1) 児童・思春期事例検討会

日 時	人 数
平成23年 6月16日 (木)	38人
平成23年 7月14日 (木)	31人
平成23年 8月18日 (木)	28人
平成23年10月20日 (木)	27人
平成23年11月24日 (木)	24人

不登校・学校不適應等の事例について、小・中・高校の教諭・養護教諭、教育・医療・福祉の関係職員により事例を検討した。

生活場面で観察された行動からこどもの理解を深め、具体的な支援方法について検討した。

#### 2) 精神保健福祉（母子・精神）事例検討会

日 時	人 数
平成23年 6月21日 (火)	14人
平成23年 7月19日 (火)	14人
平成23年 8月17日 (水)	11人
平成23年10月21日 (金)	7人
平成23年11月15日 (水)	12人

母子関係、精神障害等の事例について、毎回1事例ずつ市町村、保健所、医療機関、社会復帰施設、相談支援事業所等の関係職員により検討した。地域生活における当事者・家族支援スキルの向上を目的に、より実践的に事例のまとめ方や援助方針の立案について理解を深めた。

### 4 精神障害者地域移行促進強化事業

精神科病院において条件が整えば退院可能な入院患者（以下「社会的入院患者」という。）の退院を促進するため、その担い手になる関係者への地域移行に関する知識・技術の習得のための研修を行い、地域において指導的役割を果たす地域移行に関する専門家を養成するとともに、社会的入院患者が退院した地域における受け入れ基盤の拡充を図ることにより、精神障害者地域移行促進支援事業の円滑かつ効果的な実施を図ることを目的とし実施した。

日時／場所	内 容	参加者数
平成24年3月9日 精神保健福祉センター	地域移行推進員・ピアサポーター現任者研修会  話題提供 精神障害者地域移行支援特別対策事業について 障害福祉課 中村 佳栄 氏 シンポジウム 圏域での取り組みについて コーディネーター 峡東保健所 秋山 盛治 氏 シンポジスト 南山会きづな 平井 隆憲 氏 すみよし生活支援センター 望月 義次 氏 笛吹市地域活動支援センター 古屋まゆみ 氏 むつみの家 後藤 明子 氏	50人

## Ⅲ 広 報 ・ 普 及

### 1 所報、パンフレット等印刷物の発行

所報は精神保健福祉センターの1年間の事業実績を収録し、ホームページに掲載した。その他、パンフレット・リーフレットを作成し配布している。

### 2 広報視聴覚教材の提供・貸出（ビデオ・図書・パネル）

## Ⅳ 調 査 研 究

### 1 趣旨・内容

H22年度から、山梨県自殺再企図防止ケア事業を山梨県看護協会に委託実施している。自殺再企図防止ケア事業は、救急搬送された自殺企図者に外部支援者としてライフコーディネーターを派遣することで再企図のリスクを下げ、自殺予防に資することを目的とした事業である。自殺企図の背景にある問題点（危険因子）を明らかにし、必要な医療や福祉サービス、市町村等の地域にある相談支援期間に丁寧且つ的確につなぎ、相談の過程を通して本人や家族の問題対応力を高める保護因子を見いだすという事業内容を1内容と事業実績に関する検討、2ライフコーディネーターに対するインタビュー等による検討、3事例のニーズや支援の特徴をまとめる-支援モデルの検討という方法により調査研究を実施した。結果として得た自殺未遂者への対応について、手引き書としてまとめた。

#### 自殺再企図防止のための支援に関する研究

自殺未遂者への対応ー救急搬送された自殺未遂者が地域生活に復帰していくために

#### 結果報告

平成23年度 研究紀要に掲載

### 2 その他の研究内容ー山梨県公衆衛生研究発表会で発表

- 1) 東日本大震災におけるこころのケアチームの活動について
- 2) ひきこもり青年を対象としたアクティビティグループ活動の実践報告
- 3) 山梨県精神障害者社会適応訓練事業の効果と今後の展開

## V 精神保健福祉相談

### 1 精神保健福祉相談件数

( ) 内は22年度

相談種別	区 分	23年度新規件数	繰越件数	延 件 数	総 計
所内相談	一般相談	22 ( 37)	24 (20)	175 ( 193)	1,967 (1,895)
	心の病い相談	74 (145)	176 (150)	1,792 (1,702)	
事務所 電話相談	一般相談	192 (226)	369 (689)	599 (908)	1,380 (1,732)
	心の病い相談	407 (322)	412 (502)	781 (824)	
ストレス ダイヤル	一般相談	29 (48)	847 (843)	876 (891)	1,199 (1,196)
	心の病い相談	89 (113)	234 (192)	323 (305)	

所内相談の新規の相談件数は96件（一般相談22件、心の病相談74件）であり、昨年度の182件と比べて減少している。繰り越し件数や延べ件数は増えており、継続しての相談を行うことが多くなっている。

平成18年度から事務所内電話相談と「こころの電話相談室（ストレスダイヤル）」事業による相談とを別に集計している。ストレスダイヤルの電話相談の内訳は、心の健康づくり推進事業に再掲している。なお、夜間の電話相談の件数は、精神科救急情報センター窓口運営事業に掲載している。

一般相談は、内因性および器質性といわれる疾患にかかわる相談である。心の病い相談は、一般相談以外のもので、不登校・学校不適應などの相談から対人関係に関わる相談、摂食障害、アディクション、あるいは一過性のストレス状態など、より広い状態を含める

### 2 新規所内相談の内訳

#### 1) 月別件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件 数	11	20	13	7	12	5	9	3	1	7	5	3	96

#### 2) 内容・診断別件数

保育・幼稚園や学校にかかわる相談が多い。

相談内容・診断名	件 数
<b>保育・幼稚園や学校にかかわる相談</b>	<b>21 (21.9%)</b>
不登校・不登園	12
学校不適應	8
進路・適性について	1
<b>行動の問題にかかわる相談</b>	<b>10 (10.4%)</b>
自傷行為	1
家庭内暴力	3
反社会的行動	2
摂食障害	4
<b>性格や癖にかかわる問題</b>	<b>21 (21.9%)</b>

相 談 内 容 ・ 診 断 名		件 数
	抑うつ状態	10
	情緒不安定	6
	強迫・こだわり	5
対人関係の問題にかかわる相談		3 (3. 1%)
	家族関係について	1
	友人・異性との関係について	1
	職場での関係について	1
ひきこもりにかかわる問題		17 (17. 7%)
	ひきこもり	15
	対人不安	2
アディクションにかかわる相談		2 (2. 1%)
	薬物	1
	ギャンブル・ゲーム等	1
受診・入院・入所・福祉制度にかかわる相談		14 (14. 6%)
	社会復帰・制度について	13
	精神疾患について	1
育児不安・困難・虐待にかかわる相談		1 (1.0%)
	虐待	1
自殺関連相談		7 (7. 3%)
	自殺企図・企死念慮	4
	自死遺族相談	3
計		96

### 3) 処置別件数

処置	継続ケース	助言指導	医療機関紹介等	そ の 他	合 計
件 数	68	24	3	1	96
割合(%)	70.8	25.0	3.1	1.0	100.0

### 4) 来談者別件数

来談者	本 人	配 偶 者	父	母	子	兄 弟	親 戚	市 町 村 関 係 者	教 育 関 係 者	職 場 関 係 者	そ の 他	計
来談者件数	69	1	18	61	0	3	1	1	5	0	5	164

(複数来所あり)

### 5) 保健所別件数

保健所	中北	峡北支 所	峡東	峡南	富士・ 東部	県外	その他	計
件 数	57	16	10	6	6	1	0	182
割合(%)	59.4	16.7	10.4	6.3	6.3	1.0	0.0	100.0



## 6) 年齢別件数

年齢	10歳未満	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	計
新規相談件数	2	39	27	17	7	3	1	0	182
割合(%)	2.1	40.6	28.1	17.7	7.3	3.1	1.0	0.0	100.0

所内相談の内容別件数では、不登校や学校不適應についての相談が従来通り多く、年齢も小学生から大学生年齢と幅がある。ひきこもりや行動、情緒の問題にかかわる相談も多い。また、自殺関連の相談も増えてきている。

新規所内相談の処置件数では、7割が継続ケースであり、他機関との連携やより専門性の高い支援が必要なケースが増加している。

# VI 組織の育成

組織育成として山梨県精神保健協会、山梨県精神保健福祉協力事業所の会、精神障害当事者等リーダー会議などに関わっている。平成23年度実施状況は次のとおりである。

## 1 山梨県精神保健協会

### 1) 沿革

山梨県精神保健協会は、昭和42年7月27日に山梨県臨床心理懇談会、山梨県精神病院協会を母体に精神保健思想の普及向上を図ることを目的に発足した。

発足当時、事務局は本庁公衆衛生課（現健康増進課）に置かれたが、昭和46年4月に精神衛生センター（現精神保健福祉センター）の設置とともにセンター内に移された。

昭和62年に創立20周年にあたり、会員主体の活動を活発化するため、協会組織の検討を行い、常任理事88人、理事48人から理事23人と改正した。

平成4年に山梨県精神衛生協会から山梨県精神保健協会に名称を変更した。

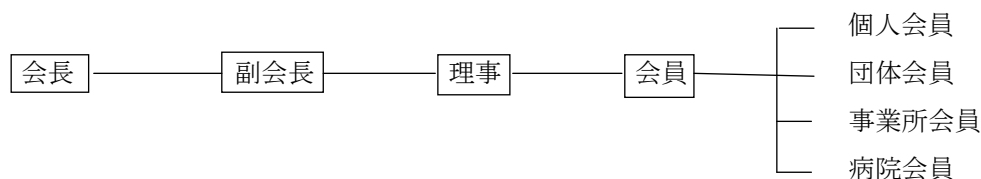
平成16年には、理事の選出団体の改正と7委員会から3委員会へ統合を行った。

### 2) 組織

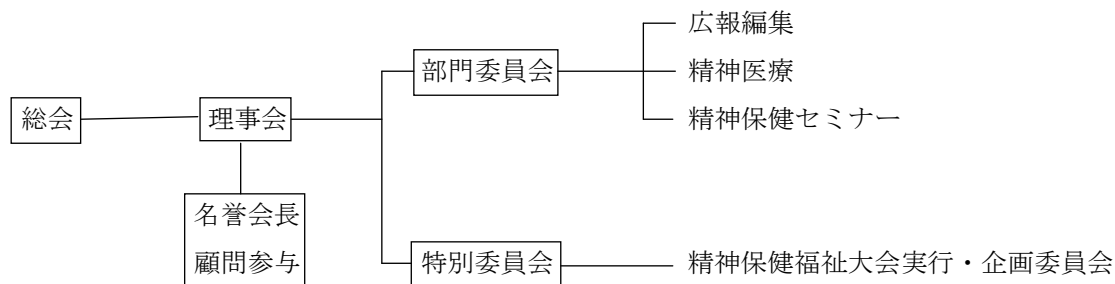
全国精神保健福祉連絡協議会の下部組織として位置づけられている民間団体である。会員は、精神保健、医療、福祉、教育、更生保護、警察、矯正、産業、労働、広報等、幅広い分野の関係者で構成している。

平成23年度の会員数は、個人会員473人、団体会員31団体、事業所会員5所、病院会員10病院である。

#### ア、系統組織



イ、機能組織



3) 事業実施状況

(1) 会議に関するもの

① 定期総会

日 時：平成23年 5月18日(水) 参加者 36人  
 記念講演：テーマ「発達障害の昨今」  
 講 師：山梨県立精神保健福祉センター 所長 小石 誠二 氏

② 理事会 5 回

③ 部門委員会

広報編集委員会 3 回  
 精神保健セミナー委員会 12 回  
 精神医療部門委員会 1 回

④ 山梨県精神保健福祉大会実行・企画委員会 4 回

(2) 普及啓発に関するもの

① 第58回山梨県精神保健福祉大会・第16回心の健康を考えるつどい

日 時：平成23年11月16日(水)  
 場 所：甲府市総合市民会館 芸術ホール、山の都アリーナ  
 参加者：764名  
 内 容：第一部  
 ・式典  
 ・公開座談会 「被災地支援活動をとおして～私たちにできること～」  
 第二部  
 ・第16回心の健康を考えるつどい  
 県下の精神科病院、地域生活支援施設や事業所等で制作した作品の展示・販売  
 ステージショー ほか

② 精神保健セミナー 年2回

	日時、場所	内 容	参 加 者
101回	平成23年6月25日(土) 甲斐市竜王南小学校	テーマ：「認知症を正しく知って『いのち』を支える地域をつくろう」 公演 第一部「認知症を学ぼう」 認知症の人と家族の会 あした葉劇団による公演 第二部「認知症サポーターになろう」 サポーター養成講座 講師 平井出 設子 氏	児童・保護者・学校関係者・高齢者団体・一般  603名

102回	平成23年11月19（土） 甲斐市敷島総合文化会館	テーマ：「願いはひとつ・すこやかな成長」 ～つながろう 両手ひろげて～ 講演：「宇宙の中の地球 地球の中の私」 講師：牛山 俊男 氏 分散会：セミナー委員が助言者として協力 主催：山梨県PTA協議会 共催：精神保健協会 (セミナー委員会)	保護者・教育関係者  280名
------	------------------------------	--	-----------------------

③地域精神医療研究会 6回（Ⅱ教育・研修を参照）

④機関誌「せいしんほけん」第47号発行

## 2 山梨県精神障害者家族会連合会（しゃくなげ会）

### 1) 沿革

山梨県精神障害者家族会連合会（しゃくなげ会）は昭和47年7月に結成された。昭和48年には第1回県連合会総会、第1回家族大会が行われ、各保健所管内家族会（措置患者家族）により組織された。その後昭和50年の第4回総会を契機として、市町村単位家族会づくりに力を入れ、県下56市町村中30市町村に家族会が組織された。

昭和56年度より病院家族会（4か所）が県連合会に加入、その後県内の精神病院に順次設立され、現在県下9病院家族会が加入している。

### 2) 活動状況

現在、県連しゃくなげ会は各地域家族会と9つの病院家族会、1つの精神障害当事者会家族会で組織されている。

県連の活動は、陳情行動、研修会・講演会の実施、県からの委託事業による社会参加促進のための情報誌の発行など、年々幅広い活動となっている。

また、各傘下の家族会でも、研修会・講演会が実施されている。しかし、県連合会をはじめ、どの家族会も高齢化、家族会会員の減少、家族会への参加率の減少等、これからどのように会を発展させていけばいいのかが課題になっており、これは、全国の家族会でも共通した課題となっている。

県連は19年度、精神保健福祉センターから事務局を移管し独立を果たした。今年度、当センターでは側面的な支援、組織育成を行ってきた。

## 3 山梨県精神保健福祉協力事業所の会

### 1) 沿革

山梨県精神保健福祉協力事業所の会は、障害をもつ人も、もたない人も共に支えあいながら働ける職場や社会の実現を目指し、精神障害者社会適応訓練事業の協力事業主を中心に平成11年9月20日に結成された。

事務局を一般事業所において、会員同志の情報交換をし、相互研鑽に励むと共に、就労施策のより一層の確立を求めるとして精神障害者の自立と社会参加の促進を目的に事業を行う。今年度は、厚生労働省の事業と共催という形で行なわれた。

### 2) 事業実績

(1) 役員会 1回

(2) 研修会

日 時	場 所	参加者	内 容
平成24年 2月29日(水) 10時～17時	敷島総合文化 会館大ホール	211名	<p>(1) 基調講演 企画委員長 (元職業能力開発総合大学校) 佐藤 宏 氏</p> <p>(2) 行政報告「精神障害者の雇用機会の拡大を目指して」 講師：厚生労働省職業安定局高齢・障害者雇用対策部地域 就労支援室</p> <p>(3) シンポジウム「山梨県における就労支援の取り組み」 シンポジスト： 中北保健所峡北支所 精神保健福祉相談員 京 篤 由 季 氏 すみよし障がい者就業・生活支援センター 施設長 森 屋 直 樹 氏 山梨障害者職業センター 主任職業カウンセラー 長 田 利 章 氏 ハローワーク甲府 統括職業指導官 望 月 重 一 氏 ファシリテーター： 山梨県精神保健福祉士協会 会長 池 谷 進 氏</p> <p>(4) 当事者・家族からの体験発表 「働くことってなんだろう ～働くことの大変さ、楽しさ～」 発表者：3～4名(予定) 司会者：当事者等リーダー会代表 鮎 川 浩 太 氏</p> <p>(5) シンポジウム 「障害者とともに働くために～定着の工夫～」 シンポジスト： 株式会社アイエスエフネット 代表取締役 渡 邊 幸 義 氏 株式会社フジミ 業務部部長 石 原 幸 一 氏 富士桜作業所 指 導 員 加々見美津子 氏 ファシリテーター： 峡南保健所 精神保健福祉相談員 石 川 一 仁 氏</p>

#### 4 山梨県精神障害者地域活動支援事業所連絡会

県内の作業所は、昭和62年4月の開設を初めとして平成18年度に1か所が開設して現在16か所である。自立支援法が施行され平成19年度中に全ての作業所が地域活動支援センターⅢ型に移行した。連絡会は、精神障害者の自立と社会参加の促進を目指して、職員がお互いに情報を交換し学び合う場・支えあう場・研修の場として開催している。今後は、施設職員の組織化と自主的な活動に向けて支援を行う。平成23年度より、会の名称が変更となった。

日 時	内 容	参加者数
平成23年 6月 6日(月)	・意見交換（各事業所の現状について） ・リーダー事業所について	20人
12月 5日(月)	・講義「発達障害への配慮について」 講師 精神保健福祉センター所長 小石 誠二	24人
平成24年 3月 5日(月)	・講義「被災地支援と災害への備えについて」 講師 精神保健福祉センター所長 小石 誠二	17人

#### 5 虹の会（当事者の会）

虹の会（当時ソーシャルクラブ）は昭和55年にセンターデイケアの卒業生として結成され、平成13年度にはセンターデイケアを終了したメンバーの多くが虹の会に入会して活動している。17年度からは広く新規入会者を受け入れて活動している。

- 《活動日》 グループ活動：第2火曜日 午後1時～3時  
 話し合い・通知発送作業：第4金曜日 午後1時～3時  
 音楽会：第3金曜日 午後1時30分～3時30分  
 自主活動：月1回（不定期）  
 その他 県の行事、ボランティアの会活動等に参加

月	グループ活動			音楽会		話し合い		自主活動・その他		
	日	内 容	人	日	人	日	人	日	内容	人
4月	12日	新職員さんと昼食会	12	15日	5	22日	10	6日	昼食会（デニーズ）	4
5月	10日	美術館鑑賞	中止	20日	5	27日	9	22日	昼食会（ガスト）	4
6月	14日	バイキング	5	17日	4	24日	8	22日	昼食会（回転寿司）	6
7月	12日	イオンモールへ行こう	6	15日	4	22日	10	8日	バイキング	4
8月	2日	個人OT	3	19日	4	26日	7	12日	個人OT	2
9月	13日	障害者文化展鑑賞会	4	16日	2	30日	6	20日	集団精神療法	3
10月	18日	日帰り旅行（新宿）	5	21日	3	28日	5	12日	美術館鑑賞	2
								13日	精神障害者主張大会	4
11月	8日	昼食会（けん）	4	18日	1	25日	6	1日	県スポーツ大会	3
								16日	心の健康を考えるつどい	6
12月	13日	忘年会（回転寿司）	4	16日	2	21日	3	3日	コンツェルト・エスパーロ	7
								9日	個人OT	0
1月	10日	初詣（武田神社）	5	20日	4	27日	5	18日	新年会（ガスト）	3
2月	14日	いちご狩り（山梨市いちごランド）	2	17日	4	24日	6	22日	集団精神療法	3
3月	13日	昼食会（回転寿司）	4	16日	3	23日	4	17日	県しゃくなげ会講演	自主
								21日	市立動物園	0

## 6 絆扉の会

虹の会メンバー家族の他、当センターへ来所相談を継続している精神障害をもつ者の家族への援助の場として毎月開催している。現在は、各家族の日頃の悩みについて話したり、情報を共有したりすることで、「ここに来れば話ができる」「こういう話は他ではできない」という声も聴かれ、ピアサポートという側面が目立っている。

日 時	内 容	人数	月 日	内 容	人数
4月27日(水)	総会	2	10月12日(水)	例会	4
5月11日(水)	例会 精神保健協会定期総会 (記念講演会) しゃくなげ会総会	2 自主 自主	11月16日(水)	県精神保健福祉大会・ 心の健康を考えるつどい 当事者リーダー会勉強会	自主
18日(水)			29(火)		自主
27(金)			12月14日(水)	例会	3
6月8日(水)	例会	3	平成24年 1月25(水)	しゃくなげ会講演会	自主
7月13日(水)	例会	3	2月8日(水)	例会	3
9月8日(水)	例会 自殺予防推進大会	3 自主	3月14日(水)	例会・梅のお花見 しゃくなげ会講演会	3
12日(月)			17(土)		自主

## 7 ボランティア活動への支援

当センターで実施した養成講座を受講し、ボランティア活動を実施しているグループに対して必要な支援を行なっている。

当事者の会（虹の会）及び甲府地区等の地域で生活している障害者を対象に、活動を行なっており、平成18年度からは、ともしび基金を活用するなど所外活動の実施や、当事者と地域住民との音楽交流イベント「コンツェルト・エスパーロ」を福祉プラザにて開催するなど、活動を行なっている。

日 時	内 容	参加者数
平成23年4月12日	新任職員さんと昼食会	12人
平成23年6月24日	クッキングハウスへ行こう！	5人
平成23年7月22日	何かを作ろう！	5人
平成23年9月2日	障害者文化展見学	4人
平成23年11月16日	精神保健福祉大会・心の健康を考えるつどい	10人
平成23年12月4日	コンツェルト・エスパーロ	70人
延べ参加者計		106人

## 8 精神障害当事者等リーダー会議

平成14年度から県内の各病院・施設等に所属している当事者の代表が集まり、これからの地域精神保健福祉に関する意見や要望を話し合う会として精神障害当事者等リーダー会議を開催している。会議はメンバーが進行し、県や関係団体主催事業への実行委員の選出や、リーダー会議が主催する勉強会についての話し合い等、さらなる自主性の向上に向けて活動している。

日 時	内 容	参 加 者 数
平成 23 年 5 月 30 日	〈全体会①〉 ・ 経過説明 ・ 部会員選出 ・ 全体会での活動内容について	当事者 8 人 スタッフ 5 人 計 13 人
平成 23 年 8 月 9 日	〈全体会②〉 ・ 各所属施設の紹介 ・ ピアカウンセリングについて ・ 研修会について	当事者 8 人 スタッフ 4 人 計 12 人
平成 23 年 10 月 27 日	〈研修部会〉 ・ 「楽しく生きよう！〔人間関係編〕」～みんなでつながろう！愛の和～ 勉強会の内容検討	当事者 5 人 スタッフ 1 人 計 6 人
平成 23 年 11 月 29 日	〈勉強会〉 ・ 「楽しく生きよう！〔人間関係編〕」～みんなでつながろう！愛の和～	参加人数 44 名
平成 24 年 1 月 17 日	〈全体会③〉 ・ 「楽しく生きよう！〔人間関係編〕」の振り返り ・ 次回の勉強会テーマについて ・ 来年度のリーダー会議について	当事者 7 人 スタッフ 2 人 学生 1 人 計 10 人

## Ⅶ 社会参加促進事業

### 第16回 心の健康を考えるつどい

- 1) 目的 県民を対象に、日ごろから心の健康について考える機会として開催するとともに、障害のある人やない人、子どもから高齢の人たちまで様々な立場の人々が、家庭や地域でよりよく生活ができるよう精神保健福祉に対する県民の理解を深めること、互いに尊重し合い明るく暮らせる社会づくりの促進。
- 2) テーマ 『やさしさでつくる 共生社会』
- 3) 日時 平成23年11月16日(水) 午後10時00分～午後2時30分
- 4) 会場 甲府市総合市民会館  
第1部 芸術ホール 第2部 山の都アリーナ
- 5) 内容 第1部 … 第58回 精神保健福祉大会  
第2部 … 県内各施設制作作品の展示・販売、当事者による店舗PR、ステージショー等のイベント

※当日は、精神障害当事者、家族、地域住民、関係者等合わせて764名の参加があった。

#### タイムスケジュール

##### 第1部 式典・表彰

公開座談会「被災地支援活動をとおして～私たちにできること～」

##### 第2部 心の健康を考えるつどい

展示・販売、自由発表、  
イベント（山中信人・雨宮知子 ライブ）

#### 販売・展示 出展団体紹介

##### ○病院

山角病院 住吉病院 花園病院 回生堂病院 三生会病院 山梨厚生病院 韮崎東ヶ丘病院  
富士吉田診療所

##### ○社会復帰施設等

市川三郷町デイケア すみよし作業センター ひらしな ココット 檜の実作業所 ぱれっと  
フットワーク すいーとはうす塩山 富士桜作業所 サービスセンター八峰（しらかば工房、  
すずらん工房、自遊工房、レインボーハウス高根） フレンドハウス山梨 都留むつみの家 さ  
くらハウス石和 ドリーム工房韮崎 甲斐志麻の里ファーム 精神保健福祉ボランティア連絡会

#### 販売・展示品紹介

●販売品 ＊パン・お弁当・フランクフルト・クッキー・各種ケーキ・フルーツポンチ・手作りこ  
んにゃく・手作り味噌・手作りジャム・ コーヒー等飲み物・野菜・椎茸・ぎんなん・梅干し・手  
工芸品・陶芸等の販売

●展示品 ＊施設紹介ボードなど



## Ⅷ 特定相談指導事業

### 1 アルコール関連問題に関する相談指導等

#### 1) 広報普及

当センターでは、昭和53年から国に先駆けて酒害相談指導事業を実施し、昭和54年からは、国の特定相談事業の一環として「アルコール関連問題に関する相談事業」や「アルコール家族教室」を中心に行ってきたが、近年県内のアルコール医療施設の充実や自助グループ活動の活性化により、相談の役割は専門医療機関等が中心となっている。このような現状を踏まえ、センターにおけるアルコール関連対策は、知識の普及啓発を目的に一般県民を対象に講演会を開催した。

#### (1) アルコール保健講演会

日 時	場 所	対 象	内 容	参加者数
平成23年 7月 3日 (日)	南アルプス市 生涯学習センター あやめホール	・一般県民 ・医療、教育関係者	講演：「誰かがあなたを必要としている～すべての人生には目的がある～」 講師：市岡 裕子氏	56人

#### (2) 専門家等によるアルコール乱用防止に関する講習会

平成23年 7月13日 (水)	山梨高校	・全校生徒 ・教師	講演：「アルコールの危険性」 講師：NPO法人山梨県断酒会会員	626人
平成23年 12月 9日 (金)	双葉中学校	・中学1年生 ・教師 ・保護者	講演：「アルコールの危険性」 講師：NPO法人山梨県断酒会会員	186人
平成24年 1月27日 (金)	勝沼中学校	・中学1年生 ・教師	講演：「アルコールの危険性」 講師：NPO法人山梨県断酒会会員	95人

### 2 思春期精神保健に関する相談指導等

思春期に対する当センターの取り組みは、一般の精神保健福祉相談としても対応しているが、厚生省補助事業「心の健康づくり推進事業」（昭和60年6月18日付）および厚生省保健医療局長通知「精神保健センターにおける特定相談事業要領について」（昭和64年1月5日付）に基づき、思春期コンサルタント事業として実施されている。

#### 1) 思春期精神保健福祉相談（原則として予約制）

##### (1) 定例相談（思春期コンサルタント事業）

小児科医による相談（毎月3回～4回午前）、当センター内で実施。

精神科医による相談（毎月1回～2回午後）、当センター内で実施。

	年度内新件数	繰越件数	延 件 数
相 談 件 数	22	30	152

##### (2) 所内相談（精神保健福祉相談）

月曜日～金曜日の午前9時～午後5時まで、当センターで実施。

	年度内新件数	繰越件数	延 件 数
所 内 相 談	38	112	1,103

※なお統計上、思春期とは10歳以上20歳未満をさしている。

## (3) 新規所内相談内容別件数

相談内容・診断名		件数
学校等にかかわる相談		20 (51.3%)
	不登校・不登園	12
	学校不適応	7
		1
行動の問題にかかわる相談		7 (17.9%)
	自傷行為	1
	家庭内暴力	0
	反社会的行動	2
	摂食障害	4
性格や癖にかかわる相談		6 (15.4%)
	抑うつ状態	2
	情緒不安定	
	強迫・こだわり	4
	その他	
対人関係の問題にかかわる相談		1 (2.6%)
	友人関係について	1
ひきこもりにかかわる相談		5 (12.8%)
	ひきこもり	4
	対人不安	1
計		39

※ P18 精神福祉相談・新規所内相談の内訳より抜粋

## (4) 相談援助内容

相談援助内容	件数
継 続	33
助 言 指 導	5
紹 介	1

## 2) 集団支援

## (1) 「ひきこもり青年」のSST（生活技能訓練）グループ

開催日時	毎月第1, 3月曜日 午後2時～3時
場 所	精神保健福祉センター デイケア室
対 象	青年期に相応の社会参加や社会交流の機会を持つことができない、あるいはその機会を回避しようとするケースのうち、統合失調症と中等度以上の精神発達遅滞を背景とするケースを除き、当センターで個人面接を継続しており、SSTの参加について同意を得られる者。
ス タ ッ プ	作業療法士、グループトレーナー
実施回数	23回
実 人 数	5人
延 人 数	38人

## (2) 「ひきこもり青年」のアクティビティグループ

実施回数 19 回

日 時	活 動 内 容	参加人数 (延べ)
4月25日	新年度計画・昼食会	8
5月16日	料理 (チャーハン)	8
5月27日	イベントホールボランティア	2
6月18日	マナー講座 (ロールプレイ含)	4
6月25日	研修会ボランティア (受付等)	2
6月28日	太極拳	10
7月11日	アイスクリーム作り	7
8月7日	樹海ウォーク	4
9月2日	コミュニケーション・ゲーム	5
10月3日	就労体験 (馬房の清掃等)	4
10月14日	就労体験 (馬房の清掃等)	6
10月27日	就労体験 (農業)	6
11月23日	お祭り	9
12月8日	コンサート・ボランティア (会場セッティング)	6
12月16日	職業見学 (豆腐製造・農業等)	6
1月20日	初詣・昼食会	3
2月16日	バトミントン	8
2月29日	研修会ボランティア (受付等)	5
3月22日	振り返り	6
計		109

## (3) 「ひきこもり青年」の家族教室

「ひきこもり青年」の相談の増加に伴い、平成9年度から家族教室を開催している。

回	日 時	内 容	参加人数
1回	平成23年6月30日 (木) 午後2時～4時	第1回「ひきこもり」の理解と対応① ・オリエンテーションと自己紹介 ・ひきこもりの現状 講師 精神保健福祉センター所長 小石誠二	17人
2回	平成23年7月7日 (木) 午後2時～4時	第2回「ひきこもり」の理解と対応② ・ひきこもりの精神医学的診断と支援について 講師 精神保健福祉センター所長 小石 誠二	14人
3回	平成23年7月21日 (木) 午後2時～4時	第3回「ひきこもり」の理解と対応③ ・家族支援について 講師 精神保健福祉センター所長 小石 誠二 ・意見交換	15人

## (4) 「ひきこもり青年」の親の会

開催日時	毎月第2木曜日 (家族教室開催月は除く) 午後1時～3時
場 所	精神保健福祉センター 集団精神療法室
内 容	親の精神的安定を図り、親子関係の改善を目的として、主に臨床技術者がグループに加わり、ひきこもる青年の理解や関わり方などの親の悩みについて話し合う。
実施回数	11 回
実 人 数	17 人
延 人 数	92 人

### 3) 思春期問題連絡会議

思春期の診療、相談、教育等に関わっている関係者の代表者や学識経験者が情報や意見を交換し合い、相互の連絡調整と連携を図るために開催した。

日 時	内 容	出席者数
平成23年 7月6日(水)	1 各機関の代表者(担当者)の自己紹介及び各機関における近況報告 2 話題提供 ① 非行少年を生まない社会づくり支援について 県警本部少年課少年サポートセンター 所長補佐 三井 幹夫氏 ② 少年鑑別所における一般相談業務について 甲府少年鑑別所 法務技官 本田 烈氏 ③ こころの発達総合支援センターについて こころの発達総合支援センター 主査 佐藤 かおる氏	16人
平成24年 2月15日(水)	1 各機関における近況報告 2 話題提供 ① ネットいじめやトラブルの実態把握と対応等について 県高等学校教育相談部会・理事長 吉田 恵子氏	16人

### 4) 思春期問題ワークショップ

教育や精神保健福祉などの関係者を対象とした研修会を2回開催した。

日時・場所	内 容	参加者数
平成23年8月12日(金) 甲斐市敷島総合文化会館	講義①「被災地の学校でのこころのケア」 ～岩手県子どもこころのサポートプログラムの実践～ 講師 県総合教育センター・研修主事 一瀬 英史氏 講義②「児童・思春期のトラウマケアについて」 講師 精神保健福祉センター・所長 小石 誠二	73人
平成24年3月12日(月) 県立博物館	講義 「心の危機をのりこえるために」 ～いのちの学習を通じて～ 講師 文部科学省自殺予防に関する調査研究協力者 四天王寺学園小学校・教諭 阪中 順子氏	55人

## 3 薬物関連問題相談指導等

### 趣 旨

近年、我が国では、中・高校生等に覚せい剤等の乱用が広がるなど、県民の健康の保持・向上を図る上で重大な課題となっている。このような深刻化する薬物乱用を防止し、また、薬物依存者の社会復帰を促進するため薬物関連問題に対する正しい知識の普及と薬物関連問題に関する相談を開催することにより、中・高校生を対象にした正しい知識の普及および健康教育の機会とする。

#### 1) 精神科医師等による薬物乱用防止に関する講習会

日 時	場 所	対 象	内 容	参加者数
平成23年 7月11日(月)	富士学苑高校	・全校生徒 ・教師	講演：「薬物乱用防止について」 講師：富士五湖ダルク 責任者 石原 禎大氏	500人

#### 2) 薬物関連問題相談専門研修会

平成23年 10月11日(火)	小瀬武道館研修室	・薬物乱用防止推進員等	講演：「薬物依存症という病」 講師：山梨ダルク施設長佐々木 広氏	61人
--------------------	----------	-------------	-------------------------------------	-----

### 3) 薬物関連に関する相談事業

薬物関連問題に対する精神科医師による相談事業の実施（予約制）

場 所 精神保健福祉センター

日 時 平成23年4月～平成24年3月

## Ⅸ 心の健康づくり推進事業・自殺予防対策事業

### 1 自殺予防対策

#### 1) 自殺予防推進大会

目的：自殺問題は個人の問題でなく、社会全体の問題であるという認識を広げるため、自殺予防週間の一環として、県民に自殺や精神疾患についての正しい知識を普及啓発し、偏見をなくしていくとともに、命の大切さや自殺予防のための対応方法等について、県民の理解を促進する機会とする。

主 催：山梨県

後 援：県教育委員会、県医師会、県精神保健協会、健やか山梨21推進会議他

対 象：一般県民

テ ー マ：「うつ病から考える自殺予防」

日時・場所	内 容	参加人数
H23年 9月12日 (月) 13時30分～ 16時30分 甲府市総合 市民会館 芸術ホール	講演 『こころを元気にする認知療法』 講 師 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター長 大野 裕 先生  シンポジウム『周囲のかかわりと役割』 コーディネーター：小石誠二（精神保健福祉センター所長） シンポジスト：守屋法子（精神保健福祉センター） 渡邊久美子氏（首都圏郵政健康管理センター甲府 分室主任医長） 杉本晴美氏（都留市保健師） 千野慎一郎氏（南アルプス市保健福祉部福祉課 社会福祉士）	600人

#### 2) かかりつけ医うつ病対応力向上研修

目 的：自殺による死亡率は全国で年間3万人を越えている。本県においても平成18年248人が亡くなられ、死亡率はここ数年全国平均を上回っている。自殺の背景に、うつ病が高い比率で占めていることが指摘されている。しかしながら、うつ病やうつ状態の患者は精神科以外の診療科を受診することが多いという報告もある。身体症状等を訴えて受診行動をとるうつ病・うつ状態患者の早期発見・早期対応を可能にするため、精神科以外のかかりつけ医師や産業医を対象に、うつ病および自殺予防に関する研修会を実施することで自殺対策の一層の推進を図ることを目的とする。

実施主体：県立精神保健福祉センター

共 催：山梨産業保健推進センター

対 象：県医師会会員、県内で医療に従事する医師、産業医、その他

日 時	場 所	内 容	参加者数
平成23年 12月1日(木)	国立病院機構 甲府病院会議室	1) 自殺の実態と国・県の自殺対策 精神保健福祉センター 小石誠二 所長  2) うつ病の理解と治療について うつ病の基礎編（うつと自殺を含む） 診断・治療とケア、連携について 花園病院 山角駿 先生	75人う ち医師 10名

平成24年 3月8日(木)	富士吉田市立病院	1) 自殺の実態と国・県の自殺対策 精神保健福祉センター 小石誠二所長  2) うつ病の理解と治療について うつ病の基礎編（うつと自殺を含む） 診断・治療とケア、連携について 県立北病院 三澤史斉 先生	97人う ち医師 7名
------------------	----------	---	-------------------

### 3) 自殺事後ケア事業

#### (1) チーム員養成研修

日 時	場 所	内 容	参加者数
平成24年 2月8日(水)	山梨県福祉プラザ 4階会議室	養成基礎研修会 講義「心の緊急支援活動の実際」 講師：日本ストレスケア研究所 研究員 澤地 都志子先生	30人

#### (2) チーム員登録内訳

	Dr	PHN	PSW	CP	SW	Ns	OT	計
民間	0	1	0	4	0	0	0	5
県職員	2	22	13	21	13	3	1	75
合計	2	23	13	25	13	3	1	80

### 4) 自殺防止電話相談

自殺は「予防可能な社会的問題」とされ、相談事業のより一層の充実が必要とされている。自殺防止に特化した電話相談事業を行うことで、自殺を考えるに至った方のより危険性の高い相談に対応し自殺防止に努めるため、平成21年4月1日から国の「全国統一電話『こころの健康相談統一ダイヤル』」を受け開始された。開設時間は祝祭日、年末年始を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後4時までとなっている。

なお、火曜日～土曜日の午後4時～午後10時が、「山梨いのちの電話」に委託されている。

平成23年度の年間相談件数は190件（うち時間外6件）であった。

## 5) 自死遺族相談

自死遺族となった場合、自身だけで回復することが困難なことが多く、遺族が抱える個別の複雑な背景を十分に理解した上で、保健医療、福祉、心理、経済、法律等の様々な問題に対して、多様な側面から支援し、心理的影響等を緩和することが求められる。当センターでは傷つき孤立しがちな遺族の心理的および社会的な回復を支援することを目的に、平成21年7月から自死遺族相談窓口を開設している。開設時間は毎月第3水曜日の午後1時から4時までとなっている。

## 6) 自殺再企図防止ケア事業

自殺を企図した未遂者は再び自殺を考慮することが多いと言われており、未遂者支援は自殺予防対策上、重要なハイリスク者対策である。救急救急センターに搬送された自殺企図者に対し、自殺企図の原因の解決に向けて、様々な分野の関係機関が連携して支援を行うことにより、自殺企図者の再企図を防止することを目的とした自殺再企図防止ケア事業を平成22年4月より、山梨県看護協会に委託し実施している。センターでは、技術的支援をしている。

## 7) 自殺対策人材育成事業

地域における自殺対策を効果的に推進するため、行政、保健、医療、福祉、教育、警察、消防などの自殺対策に関わる関係機関の職員等を対象とした自殺予防に必要な知識や対応に関する研修会実施を山梨県看護協会に委託し実施している。平成23年度は、7回開催し延べ421名の参加者であった。センターでは、企画実施に関する技術的支援・講師派遣などを行っている。

## 2 「こころの電話相談室」ーストレスダイヤラー

「心の健康づくり推進事業」の一環として、「こころの電話相談室ーストレスダイヤラー」を行っている。電話相談開設時間は、月曜日から金曜日の午前9時から午後4時までとなっている。

なお、夜間相談については、平成10年度より「精神科救急情報センター“心の健康相談窓口”」へ移行した。

### ・ストレスダイヤル利用状況

#### 1) 相談件数・相談対応時間

平成2年度より始まった「ストレスダイヤル」も年々相談件数が増加している。

平成18年度より、事務所内の電話相談とストレスダイヤルの電話相談の件数を分けて集計しているの  
で、ストレスダイヤルの総数は、集計上減少している形になっている。

1ヶ月平均99.9件、一件の平均対応時間は17.11分であった。

#### 2) 月別相談件数

(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般相談	60	72	86	88	86	64	63	72	80	60	68	77	876
心の病相談	31	24	28	31	39	22	23	32	25	22	31	15	323
合計	91	96	114	119	125	86	86	104	105	82	99	92	1,199

\*一般相談：総合失調症、気分障害、老人性痴呆、知的障害等いわゆる内因性、気質性障害

心の病相談：上記以外のもので病気とはいえないが、精神的に不安定な状態、不適応状態、ストレスによる悩みなど

3) 相談内容別件数

	老人精神 保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康 づくり	うつ状態	その他
相談数 (件数)	4	703	1	0	4	298	165	24
割合 (率)	0.3	58.6	0.1	0	0.3	24.9	13.8	2.0

4) 相談対象者性別件数

	男 性	女 性	不 明
相談数 (件数)	408	790	1
割合 (率)	34.0	65.9	0.1

5) 相談者別件数

	本 人	家 族	その他 (保健所・市町村役場・病院・学校等)
相談数 (件数)	1,179	14	6
割合 (率)	98.3	1.2	0.3

6) 処理内容

	助 言	情報提供	カウンセリング
相談数 (件数)	12	35	1,152
割合 (率)	1.0	2.9	96.1



## X 子どもの虐待再発予防対策事業

### 1 親子のこころ相談室

児童虐待の再発及び発生を予防する上で、保護者等にメンタルヘルス上の問題に対する支援が必要な場合や、多くの関係機関による支援が必要な児童及び保護者に対し、家族へのカウンセリングや心理療法等を行った。

平成23年度相談総件数：65 件（実数12人）

## XI 精神科救急情報センター窓口運営事業

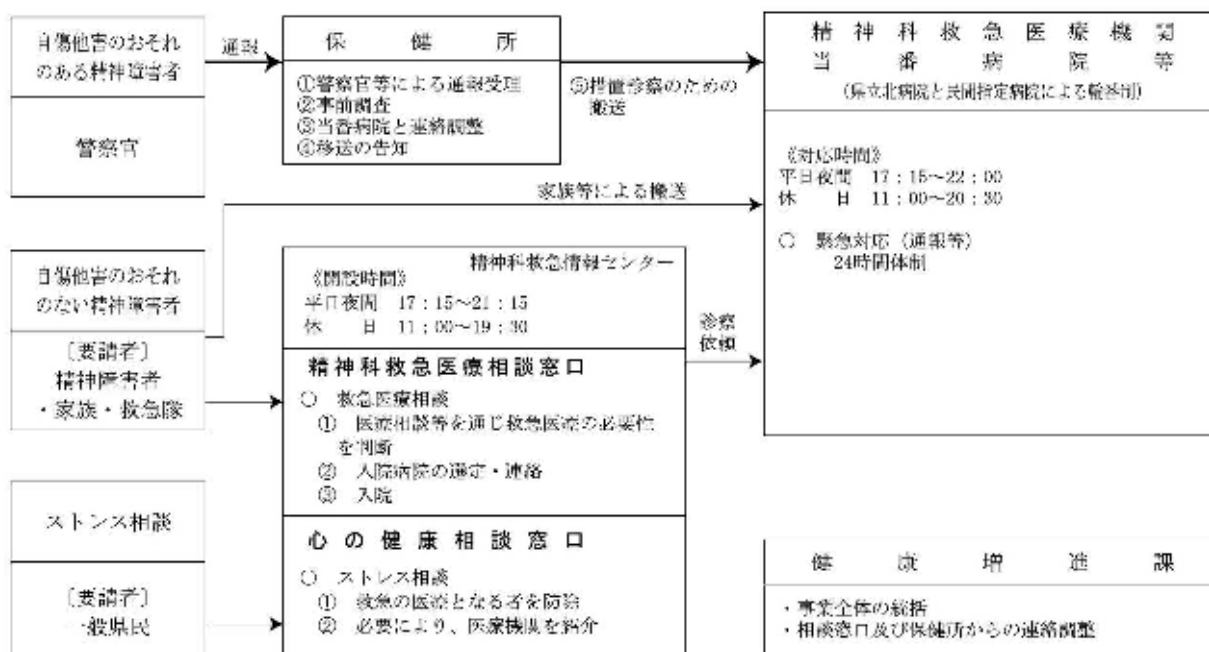
### 1 概 要

平成10年4月20日から夜間・休日の医療体制を確保する「精神科救急医療システム」を開始した。

この業務は、精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化など早急に適切な精神科医療を必要とする者に対して相談に応じ、そのうえで状況によっては医療機関を紹介するとともに、心の健康相談から専門的な医療相談まで併せて実施し、県民の心の健康づくりを推進することを目的としている。

#### 〈精神科救急医療相談の流れ〉

山梨県精神科救急医療事業



→ 情報の流れ

## 2 精神科救急医療体制（精神科救急情報センター）

### 1) 精神科救急医療相談窓口

内 容	精神疾患の急激な発症、悪化のために、早急に医療が必要と思われる相談
協力病院	県内全域を1つの精神科救急医療圏として実施し、県立北病院及び精神科病院協会加盟の病院の輪番制をとっている。
開設時間	平日夜間 午後5時15分～午後9時15分 土日祝祭日 午前11時～午後7時30分 年末年始祝日も開設（時間帯は休日時間で対応）
電話番号	055-254-3119

### 2) 心の健康相談窓口

内 容	家庭、職場、近隣の人間関係の悩みなどの相談
開設時間	平日夜間 午後4時30分～午後9時15分 土日祝祭日 午前11時～午後7時30分 （正午～午後1時、午後4時～4時30分は休憩時間） 年末年始祝日も開設（時間帯は休日時間で対応）
電話番号	055-254-8700

以上2回線が専用電話となっている。

## 3 実施状況

### 1) 精神科救急医療窓口職員研修会

#### (1) 精神科救急医療相談窓口職員研修会

開催年月日	内 容	参加者数
平成23年 4月 4日（月）	職員研修第1回（困難事例の共有、窓口の対応について）	5人
平成23年 9月 9日（金）	職員研修第2回（困難事例の共有、窓口の対応について）	8人

#### (2) 心の健康相談窓口職員研修会

開催年月日	内 容	参加者数
平成23年 4月27日（水）	職員研修第1回（事例検討、情報交換）	6人
平成23年 7月15日（金）	職員研修第2回（事例検討、情報交換）	7人
平成23年12月19日（月）	職員研修第3回（事例検討、情報交換）	7人
平成24年 3月30日（金）	職員研修第4回（事例検討、情報交換）	7人

### 2) 精神科救急医療相談の利用状況について

平成23年度精神科救急医療電話相談実績

（ ）内 22年度実績

	相談総件数
・精神科救急医療相談	363 (377)
・心の健康相談	2,769 (3,158)

## (1)平成23年度精神科救急医療相談

## ①月別相談件数の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数		35	37	26	23	26	31	36	30	35	39	14	31	363
性別	男	15	13	13	12	12	16	21	11	13	18	11	17	172
	女	20	24	13	11	14	15	15	19	22	21	3	14	191
平均相談件数		1.7	1.6	1.7	1.5	1.7	1.5	1.6	1.8	1.7	2.3	1.2	1.2	1.6
相談回(日)数		21	23	15	15	15	21	22	17	21	17	12	25	224

## ② 相談者の区分状況

	本人	家族	医療機関	警察署	救急隊	保健所	その他	計
件数	178	104	14	15	14	21	17	363
割合(%)	49.0	28.7	3.9	4.1	3.9	5.8	4.7	100

## ③ 相談対象者の年齢別状況

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	計
件数	3	17	56	49	52	37	46	22	81	363
割合(%)	0.8	4.7	15.4	13.5	14.3	10.2	12.7	6.1	22.3	100

## ④ 相談者の居住地管轄保健所別状況

	中北	峡北支所	峡東	峡南	富士・東部	県外	不明	計
件数	181	29	32	15	32	15	59	363
割合(%)	49.9	8.0	8.8	4.1	8.8	4.1	16.3	100

## ⑤ 対応状況

	電話相談のみ	当番病院紹介	一般救急紹介	他機関紹介	警察保護依頼指示	他精神科紹介	その他	計
件数	164	96	19	27	1	37	19	363
割合(%)	45.2	26.4	5.2	7.4	0.3	10.2	5.2	100

## ⑥ 相談内容

	受診相談	病気の相談(薬等)	社会復帰の相談	社会制度の相談(経済問題等)	ストレス相談	その他	計
件数	222	53	1	1	45	41	363
割合(%)	61.2	14.6	0.3	0.3	12.4	11.3	100

## ⑦ 診断名の内訳

ICD-10	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	てんかん	その他	不明	受診歴無し	計
件数	9	13	32	48	16	0	6	1	14	0	31	5	103	85	363
割合(%)	2.6	3.6	8.8	13.2	4.4	0	1.7	0.3	3.9	0	8.5	1.4	28.4	23.4	100

⑧ 相談時間状況

・平日夜間

	開始～6時	6時～7時	7時～8時	8時～9時	9時～終了	合計
件数	43	31	40	45	10	169
割合 (%)	25.4	18.3	23.7	26.6	5.9	100

・休日

	11時～12時	12時～1時	1時～2時	2時～3時	3時～4時	4時～5時	5時～6時	6時～7時	7時～終了	合計
件数	56	23	21	11	20	14	15	21	11	192
割合 (%)	29.2	12.0	10.9	5.7	10.4	7.3	7.8	10.9	5.7	100

(2) 平成23年度心の健康相談

①相談総数 (男女別)

全件数	相談対象者性別		
	男	女	不明
2,769	1,153	1,616	0
100.0%	41.6%	58.4%	0.0%

②相談者別 平均通話時間 13.7分

相談者			
本人	家族	その他	不明
2,748	17	3	0
99.2%	0.6%	0.1%	0%

③相談処理内容

処理内容		
助言	情報提供	カウンセリング
11	21	2,737
0.4%	0.8%	98.8%

④相談内容別

	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	その他
相談数 (件数)	7	2,286	0	0	12	239	215	10
割合 (%)	0.3	82.6	0.0	0.0	0.4	8.6	7.8	0.4

	再掲			
	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	発達障害
相談数 (件数)	1	11	0	1
割合 (%)	0.0	0.4	0.0	0.0

## XII 精神医療審査会

### 精神医療審査会に関わる事務

精神医療審査会は、精神障害者の医療に関し学識経験を有する者、法律に関し学識経験を有する者及びその他の学識経験を有する者のうち、県知事が任命した者から構成され、次の審査を行っている。

①精神病院の管理者から医療保護入院の届け出、措置入院者及び医療保護入院者の定期病状報告があったときに、当該入院中の者についてその入院の必要があるかどうかに関すること。

②精神病院に入院中の者又はその保護者等から、退院請求又は処遇改善請求があったときに当該請求にかかる入院中の者について、その入院の必要があるかどうか、又はその処遇が適当であるかどうかに関すること。

平成14年4月1日より、審査会の審査に関する事務の専門性に配慮するとともに、審査の客観性、独立性の一層の確保を図るため、審査会の遂行上必要な事務を精神保健福祉センターで行うこととなった。

平成18年4月1日より、書類の收受及び一部結果通知事務等についても精神保健福祉センターで行うこととなった。

#### 1) 報告書類の審査件数及び結果

(平成23年度)

	定期病状報告書		医療保護入院の 入院届
	措置入院	医療保護入院	
審査件数	18	772	1092
現在の入院形態での入院が適当	18	772	1092
他の入院形態への移行が適当	0	0	0
入院継続不要	0	0	0

#### 2) 退院等の請求

(平成23年度)

退院請求	
受理件数	15
審査件数	12
現在の入院形態での入院が適当	11
他の入院形態への移行が適当	1
入院継続不要	0
取り下げ	2
その他(審査が年度をまたいだ)	1

(平成23年度)

処遇改善請求	
受理件数	0
審査件数	0
適当	0
不適当	0
取り下げ	0

## XIII 自立支援医療費（精神通院医療） ・ 精神障害者保健福祉手帳の判定事務

自立支援医療費（精神通院医療）は、在宅精神障害者の医療の確保を容易にするために昭和40年に創設された通院医療費公費負担制度の後、平成18年4月の障害者自立支援法施行によって、従来異なる法の下にあった三障害それぞれへの公費負担制度が統一されることとなった。また、精神障害者保健福祉手帳は、一定の精神障害の状態にあることを証明する手段となることで、手帳交付者に対する各種福祉サービスを受けやすくし、精神障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的に平成7年に創設された。精神疾患を有する者で、長期にわたり日常生活又は社会生活に制約がある者に対して、申請により交付される。

これらの制度の交付、承認については、平成14年4月から精神保健福祉センターで判定業務を行っている。平成23年度の審査件数については、次のとおりである。

	審査件数 (延べ件数・再審査含む)	再審査件数	承認件数	不承認件数
手帳	1,905	172	1,707	26
手帳と同時申請の自立支援医療費（精神通院医療）	1,111		1,014	2
自立支援医療費（精神通院医療）	7,229	143	7,086	0

平成二十三年  
度

精神保健福祉  
センター  
所報

山梨県立精神保健福祉センター